



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2001年1月1日発行 第26号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

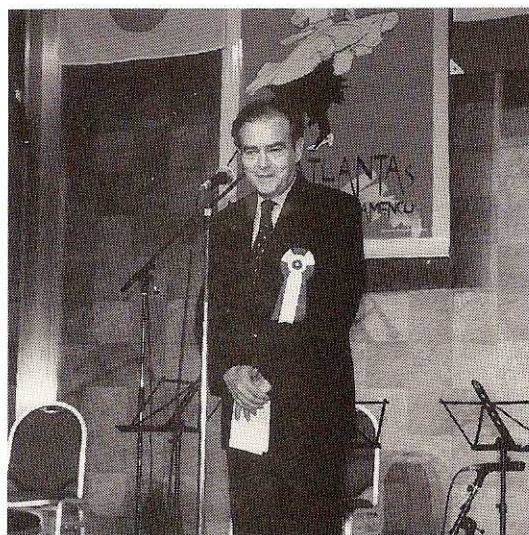
新世紀にあたってホアン・レニャ大使より当協会に届いたメッセージを紹介する

メ ッ セ ー ジ

横浜スペイン交流協会は、発足以来10年間にわたり、日本・スペイン関係のため、また日本におけるスペイン語とスペイン文化の普及に熱心に取り組んで来られましたが、さらなる熱意を持って新世紀の幕を開けます。

新世紀のスタートである2001年、横浜スペイン交流協会はこれまで同様、スペインと日本をつなぐ架け橋として、その活動を続けて行かれる事と信じています。

有能かつ寛大な下山貞明会長のもと、過去10年間積み重ねて来られた業績に対し、この場をお借りして、スペイン大使として横浜スペイン交流協会への感謝の意を表します。



▲10周年フィエスタで挨拶をするホアン・レニャスペイン大使

年明けにあたり、横浜スペイン交流協会会員の皆様に新春のお慶びを申し上げ、ご清祥を祈念します。特に下山会長は、この度功績が評価されて、スペイン国王、ホアン・カルロス I 世より、イサベル女王勲章オフィシャル章が授与され、心よりお慶び申し上げます。

駐日スペイン大使
ホアン・レニャ



MENSAJE

La Asociación de Intercambio entre Yokohama y España comienza el nuevo siglo con el entusiasmo que ha desplegado en sus diez años de existencia en favor de las relaciones hispano-japonesas y de la difusión de la lengua y la cultura de España en Japón.

Estoy seguro que en el año 2001, primer año del nuevo siglo, la Asociación de Intercambio entre Yokohama y España continuará siendo un puente de acercamiento entre España y Japón.

Como Embajador de España aprovecho también esta oportunidad para agradecer a la Asociación de Intercambio entre Yokohama y España toda la labor realizada en los diez últimos años bajo la presidencia eficaz y generosa del Sr. Sadaaki Shimoyama.

Mi felicitación y mis mejores deseos en el año que se inicia a la Asociación de Intercambio entre Yokohama y España y a todos sus miembros, muy especialmente a su Presidente, Sr. Shimoyama, cuyos méritos han sido reconocidos por S.M. el Rey D. Juan Carlos I al concederle la condecoración de Oficial de la Orden de Isabel la Católica.

Tokio, 8 de noviembre de 2000

Juan Leizaola
Juan Leizaola
Embajador de España



Tokio, 19 de octubre de 2000

Embajada de España
1-3-29, Roppongi, Minato-ku
Tokyo 106-0032

Sr. Sadaaki Shimoyama
Presidente
Asociación de Intercambio entre Yokohama y España
2-18-4, Kishiya, Tsurumi-ku, Yokohama-shi
230-0078

Estimado Sr. Shimoyama:

Como Embajador de España, me es muy grato comunicarle que Su Majestad el Rey de España, D. Juan Carlos I, ha tenido a bien concederle la Cruz de Oficial de la Orden de Isabel la Católica en atención a los muchos méritos que en Vd. concurren y a los esfuerzos que ha desplegado siempre en favor del desarrollo de las relaciones culturales entre España y Japón.

Con mi felicitación más sincera por tan merecida distinción, reciba un saludo muy cordial de su buen amigo.

Juan Leizaola
Juan Leizaola
Embajador de España

▲下山会長に届いた叙勲の知らせ

21世紀を迎えて新たな飛躍と発展を!!

横浜スペイン交流協会会長 下山 貞 明

新春を迎え、皆様のご多幸を心から祈念いたします。

ミレニアムの昨年は、奇しくも当協会創立10周年にあたりました。そこで『創立10周年記念イヤー』と位置付け、各種のイベントを行ってまいりました。

まず第1弾として桜の花咲く4月初旬『ロング市代表団―横浜招聘』、つづいて6月には『スペイン映画上映会』、7月には『私たちのスペイン展』等を開催し、創立記念日当日の7月7日のフィエスタは、10周年記念にふさわしく盛大なものでした。そしてこれらすべてのイベントは、10周年記念実行委員会各位のご努力と会員各位のご協力により、成功裡に終了することができましたことを、ここに改めて感謝申し上げます。

さて私事ながら、この度はからずも駐日スペイン大使ホアン・レニャ閣下より、スペイン国王ホアン・カルロスI世からの『オフィシャル十字型章』の授与が決まったとの丁重なるお知らせを受け、昨年12月27日、スペイン大使館において身にあまる栄誉の叙勲に接し、誠に光栄に存じております。

しかしながらこの栄誉は、ひとえに今日まで日西交流に共に歩みつづけてきたスペインが大好きな仲間たち、すなわち当協会の皆様方のご協力とたゆまぬご努力の結果であると受けとめ、ここに改めて皆様方に対し、心から厚く御礼を申し上げます。

本年より始まる21世紀においては、昨年の創立10年という節目を契機として、心新たにスペインという共通の場のもとに、お互いの理解と融和と、そして心ゆたかな楽しい協会を目指し、さらに各地のスペイン協会と共に力を合わせ、あらゆる分野においてスペインとの幅広い交流を深めて参りたいと願っております。

会員の皆様には、よろしくご理解下さいますようお願い申し上げ、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



▲三ツ池公園にて
カスターニョさんと

下山会長スペイン国王より 勲章を授与される

ミレニアムの昨年暮、当協会の下山貞明会長が、スペイン国王陛下、ホアン・カルロスI世より、イサベル女王勲章オフィシャル十字型章を授与された。これは下山会長が横浜スペイン交流協会の長として、スペインと日本の文化関係発展に寄与したことに對して贈られたものである。

20世紀最後の年2000年は、奇しくも当協会設立10周年の年であり、かつスペイン国王陛下、ホアン・カルロスI世即位25周年でもあった。このことは当協会が、スペインとの深い何か関わりがあるのではないかと暗示させるものがある。

下山会長はこの叙勲について「名前は個人に対して贈られているが、これは会員皆さんが会の主旨をよく理解され、活動してくださったおかげであり、言ってみれば協会そのものが受けたものであり、我々の活動がスペインで認められたことにほかならない」と語っている。

バラエティに富む話題の集まり 大好評のスペインサロン

○10月のスペインサロン

10月15日に行われたサロンでは、かつてNHKテレビのスペイン語講座に出演していたルイス・セボジャード氏を迎え、30余名が集まった。

今回のサロンには、当協会のスペイン語講師であるジュアン氏と、彼の友人のフランシスコ（パコ）氏も参加。スペイン語と日本語が飛び交う、にぎやかな会となった。

ルイス氏はスペイン語と日本語を混じえながら、日本と日本人について語った。彼の話の概要は、東京や大阪などいわゆる大都市は本当の日本とは思えないということ。これは最近彼が訪れた山口や尾道には、風景にもそこに住む人々にも、本当の日本が感じられたとのことであった。

また、パコ氏は出身地のサラマンカについて語り、ジュアン氏も同様に出身地バルセロナについて語った。同時に二人は、それぞれサラマンカで話されているスペイン語、カタルーニアで話されているスペイン語についても語り、いわゆるカステジャーナとしてのスペイン語について言及した。

サロン終了後、今回のような「スペイン人と話す機会をもっと作って欲しい」との要望が参加者から多く寄せられた。

○11月のスペインサロン

11月18日のサロンには、「佐藤喜一郎夫妻を囲んで」というテーマに、およそ20名ほどが集まった。

夫妻は20年ほどグラナダに住んでいるが、佐藤氏は8月に当協会に入会した。氏がグラナダに住むようになった動機は、好きなスキーを近くのシエラ・ネバダでできるからとのことであった。また、氏の奥様は油絵の制作を行っていたが、5年ほど前に氏と一緒にスキーをしていたおり、アクシデントに巻き込まれ怪我をして以来、絵筆を持つ気力がなくなったとか。

また夫妻は、夏のあいだ日本にいて、冬になるとグラナダに戻るという、日本とスペインを行ったり来たりの生活をしているということだ。夫妻の年齢は85歳と80歳だというが、二人ともとても年齢にはみえない元気溢れる姿に、参加者全員が二人の元気にあやかりたい思いであった。

話は年をとってから外国に住むコツについてなどにも及び、海外へ永住や長期滞在を考えている者にとって、参考になった集会でもあった。



▲身振り手振り豊かに話をする
ルイス・セボジャード氏



▲スペインサロンで話す佐藤氏夫妻

***** スペインサロンへのお誘い *****

これからのスペインサロンについて、ご案内します。お知り合いや友人をお誘い合わせ、多くの会員の皆様の参加を希望します。

スペインサロンは原則として、毎月第3土曜日に開催しています。会場は月によって変更がありますので、『A I Y E S通信』でよく確認のうえお越しください。

●2001年1月例会

日 時：2001年1月20日（土） 14時～16時

場 所：フォーラム横浜セミナールーム3（ランドマークタワー13階）

テーマ：フィエスタについて。新しい世紀の始めということで、ミニパーティ形式で行いたいと考えています。楽しく盛り上げましょう。スペインで各地の祭りに参加の経験がある方は、その時の写真などをご持参ください。

●2001年2月例会

日 時：2001年2月17日（土） 14時～16時

場 所：フォーラム横浜セミナールーム3（ランドマークタワー13階）

テーマ：スペイン映画について。参加者持参のビデオを見ながら、話しをはずませましょう。スペイン映画のパンフレットやスチール写真などお持ちの方はご持参ください。

●2001年3月例会

日 時：2001年3月17日（土） 14時～16時

場 所：フォーラム横浜（予定）

テーマ：スペインスケッチ旅行。本号に寄稿の牧瀬会員が自身の経験をもとに、作品を皆様にお見せしながらのトークです。参加される皆様方のなかで、スペインでスケッチされた作品があったら、ぜひご持参ください。

担 当：石川美和子

高 柳 治 子

会員投稿

志摩スペイン村アンダルシアフェア 見学ツアーに参加して

井 口 孝 利

各地のスペイン協会との交流会を関西日本スペイン協会の主催で「志摩スペイン村」にて施行されるとの案内があり参加することにしました。

関西日本スペイン協会事務局のきめこまい手配に感謝しながら当日を迎え、新幹線にて名古屋駅に向かいました。台風14号の接近により天候は良好ではなかったが久しぶりの旅行で気分爽快でした。

近鉄名古屋駅のホームに会員の方々もみえて久しぶりの再会に話もはずみ車中の人となり一路鳥羽へ。車内では関西日本スペイン協会事務局の方からスケジュールの説明があり、伊勢平野の田園風景や工業地帯を経て鳥羽駅に到着し波止場に向かい鳥羽市長の出迎えを受けました。その時ホアン・レニャ駐日スペイン大使ご夫妻の同行を始めて知りました。

お昼の食事は鳥羽湾巡りの観光船にてバーベキューということで指定されたテーブルにつき、一斉に歓喜

の声があがりました。テーブルには桶に入った生きた伊勢エビ、アワビ、サザエ、貝等があり、出航にあわせて乾杯があり、コンロに火が入り船内のマイクは湾内の名所等の案内が流れていても聞くだけで、見るひまもなく、ひたすら網の上の伊勢エビ、アワビをいただきながら一時間余りの時間もあっという間に過ぎ、桶のものを全部たいらげて満足して下船しました。これも関西日本スペイン協会会員で船上レストランのオーナーである佐々木氏ご夫妻のサービスではなかったかと感謝しております。

バスで伊勢志摩エリアを南北に結ぶ観光道路「パールロード」をリアス式の東海岸の景色を見ながら一路「ホテル志摩スペイン村」に向いました。

ホテルはスペイン風で（社長の説明では瓦から床のタイル、壁面のかざりにいたるまでスペインからの輸入とのことでした）休憩の後「パルケエスパーニャ」へ。現在はフラメンコの発祥地として知られるアンダルシア州の魅力を紹介する「2000アンダルシア」を開催中で多彩な催しを実施されていました。関西日本スペイン協会の会長であり「ホテル志摩スペイン村」の社長金森茂一郎氏が先頭になって会場の案内をされ、博物館の展示品でセビリア出身であり17世紀スペイン最大の画家ベラスケス、また「コルドバの心」とうたわれたロメロ・デ・トーレスの日本初公開の絵画の出展の経過等の説明を聞きながら鑑賞いたしました。

ホテルのバンケットルーム「エスパーニャ」にて懇親会が開催され、各々が指定のテーブルにつき、席には1～2名のスペインから来日し「パルケエスパーニャ」に勤務する方々が同席し、主催者、続いて駐日スペイン大使の挨拶があり、坂本前駐スペイン大使の乾杯で懇親会に入り、当協会理事の上野淑子さんの「マラゲーニャ、グラナダ」の独唱があり懇親会に花を添えていただきました。続いて下山横浜スペイン交流協会会長、辻岐阜県スペイン友好協会会長（辻氏は美智子皇后様がスペインをご訪問された折に「サラマンカ教会」のパイプオルガンが年代もので使用できないのをお聞きになり、日本での修復を約束されて帰国後、辻さんにお話があり修復に当たられた）、河北日西文化協会TORA会長、吉田名古屋スペイン協会事務局長の挨拶があり、時間の経過とともに同席のスペインの方も片ことの日本語で相手をし和気あいあいのうちに交流が行われました。

「1995年第2回さくら植樹スペイン友好親善訪問の旅」に参加した折に坂本駐スペイン大使の招待を受け公邸を訪問した折に出された赤ワインの味が大変おいしかったので、当時のお礼とワインのおいしかったことのお礼を申し上げたら「よくおぼえていて下さってありがとう。下山会長の話をきき感激をしたので、とっておきを出したので、スペインでも手に入れることがむずかしいのですよ。今日来た甲斐があった」と言っただけ、ツアーに参加してよかったと思いました。



▲志摩スペイン村ドンキホーテ像の前でスペイン大使を囲んで

翌日朝食をすませ「パルケエスパーニャ」に行く。土曜日とあって子供連れの入園者が多く、ショーの入口には列ができていました。サンタクルス通りで個々の店を見ながら「カルメンホール」に行きスペインの方々によるフラメンコショーを見る。ダンサーの真剣な踊りで、2回のスペイン旅行で見た現地の踊りよりも優雅で迫力があると思いました。続いて「ロストレジェンド」にて炎と大洪水のショーを見学、スペイン

の伝説の大陸を舞台に勇者カーサムが魔王エゴリアスと死闘を繰り広げるテーマで、爆発あり炎上あり、大洪水ありで見ていて中々楽しかったが爆発音と同時に火炎が昇り客席まで炎の熱気が流れて来ました。

マヨール広場2Fのレストラン「コメドール」にて昼食、スペイン料理にワインと至れり尽せりの食事でした。

シベレス広場、フィエスタ広場にて行われる「エスパーニャカーニバル」はスペインの有名なお祭りや伝統的な文化をテーマにしたパレードでなかなかの見ごたえがありました。出発までの時間にスペイン製品の買物をし、バスにて近鉄志摩磯部駅に行く途中賢島を巡りスペイン村の景観を遠望し駅に到着して、大阪方面、名古屋方面へと再会を約して帰途に着きました。

今回の見学ツアーでは関西日本スペイン協会の方々のご努力により楽しい日々を過ごさせていただいたことに感謝を申し上げます。また公務ご多忙のところ行動を共にしていただいた駐日スペイン大使ご夫妻に対し、衷心よりお礼を申し上げます。また同行の会員のみな様方にも厚くお礼申し上げます。

会員投稿

スペインスケッチ旅行

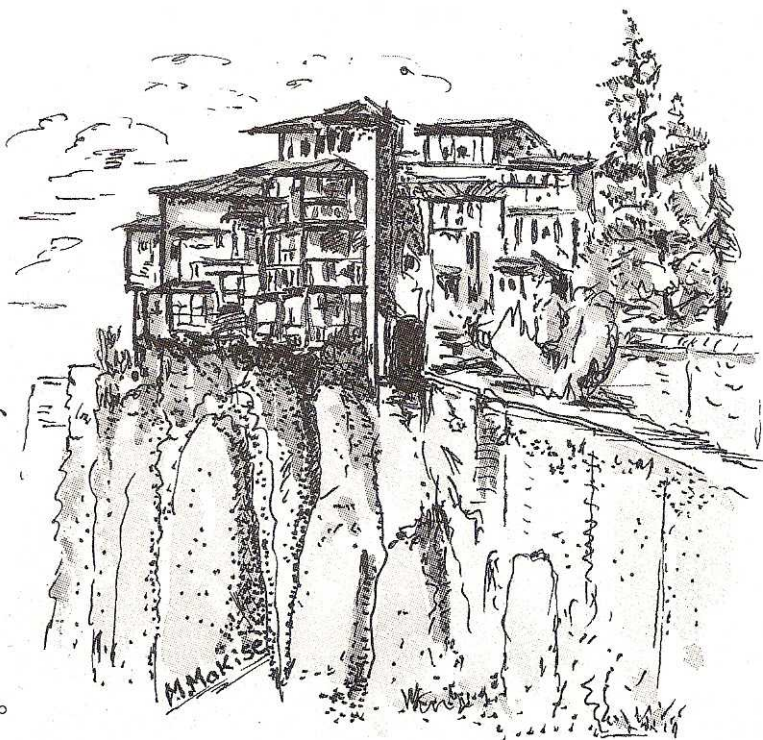
牧 瀬 貢

残暑厳しい日本から逃げるようにして、スペインへ、9月2日～16日の2週間を心ゆくまで楽しんだ、それも現役時代には、重い書類やサンプルなどの仕事に関するもので詰まっていたカバンも、今回は絵画の道具とテニス道具、そしてわずかの衣類を持っての軽装で出発した。

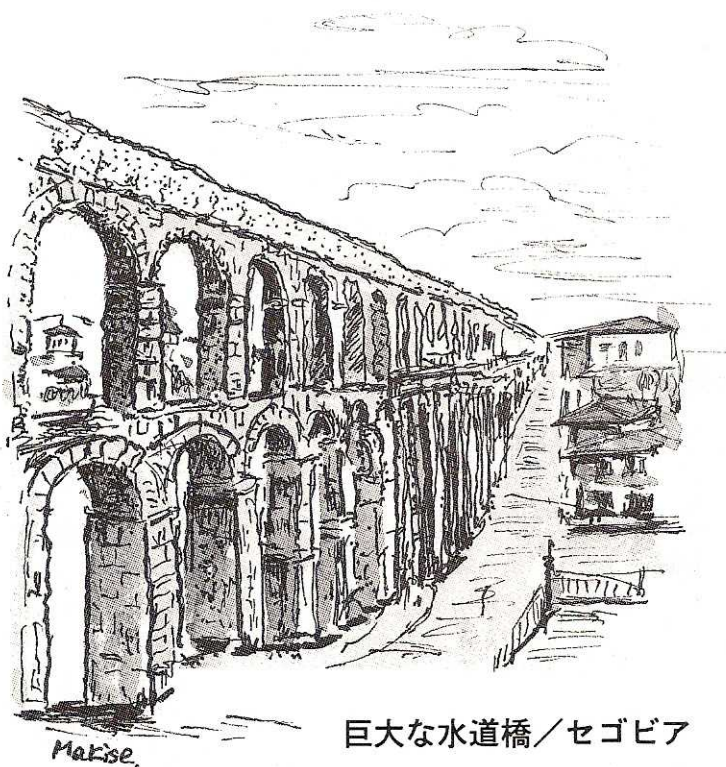
以前からどうしても描いてみたいと温めて置いたもののうち、今回は、クエンカの街並みや、不安定な家 (La casa colgante)、そしてセゴビアの水道橋 (El aqueducto) やアルカサル城、またビルバオの吊り橋 (El puente colgante) 等々のスケッチができた。

それらに前後して、マドリッドでは、2日間テニスに興じ、暑い昼間に汗をかき、日没と共に涼しいメセタの気候を満喫した。

北スペインではビルバオからサン・セバスチャン、オンドリビア、そしてフランスとの国境のピレネー山脈をレンタカーで、ドライブし、思い出の場所を訪れて、その土地土地のワインと郷土食が楽しめた。



不安定な家／クエンカ



巨大な水道橋／セゴビア



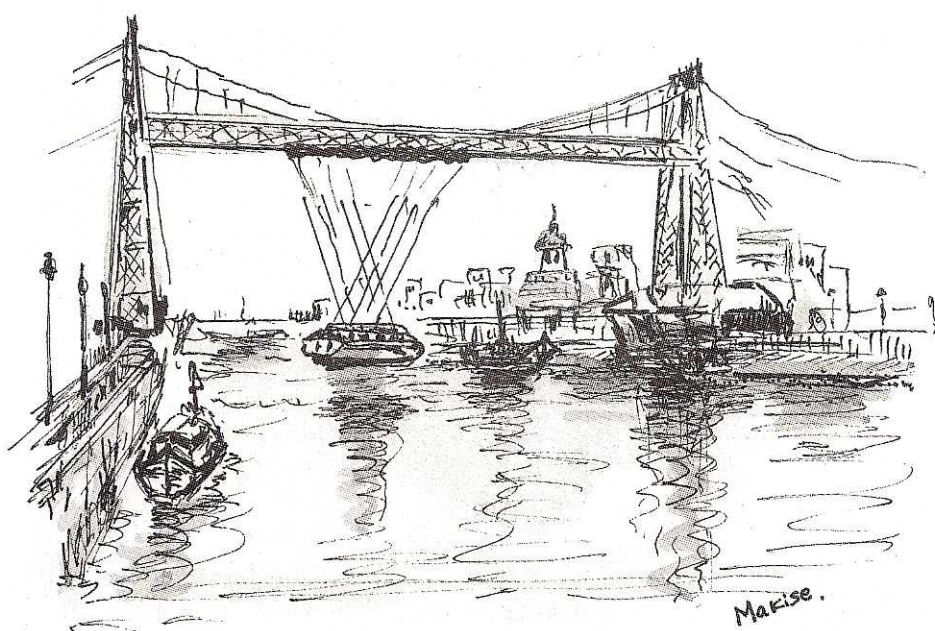
▲自宅のアトリエ（ミニ美術館）にて

スペインはどこへ行っても360度方向に画材となる景色が多い、あまり人手を入れない自然とローカルカラー豊かな建物が歴史と調和しているのが好きである。

スペインを旅行するたびに我が家の私設ミニ美術館に飾る絵が増えていくのが何よりも楽しみである。

次回の“私たちのスペイン展”に展示できる良い作品を一枚でも多く、これからも描きたいと願っています。

出来れば「スペインスケッチの会」などあればなーと思っています。



吊り橋（フェリー）／ビルバオ

遙かなる心の故郷=Españaへの旅 『闘牛とRonda訪問』

— 鎌 田 暁 子 —

現代は日々日進月歩の速度が早まり、10年一昔というのももう通用しないのかも知れない。スペインに1985年の秋から住み着いてフッと気が付いたら1991年を迎えてしまった、といった、浦島花子（太郎ではない！）的一昔？ を過ごして帰国すると、日本はもうよその国といった感じ。日本語も話し、顔も姿も完全なる日本人なのに何か違和感！

そうこうしているうちにまたもや浦島花子的一昔が過ぎ去り、スペイン恋しの気持ちが沸々と沸き上がり…。

久々のスペインは以前のスペインよりも一段と騒々しかった。何故か？ そう、皆が大きな声で携帯電話を相手に喋りまくっているのである。日本の携帯事情よりはるかに騒がしいのは皆さんにも想像出来ると思う。今は携帯電話の他にテレカの使用も一般的となり、故障している公衆電話も少なくなった。昔のように機械を壊しての不正使用が減った為と思われる。

今回のスペイン行きのきっかけとなったのは、この春Ronda市の訪問団一行から「Rondaの闘牛は牛を殺さない。ペドロ・ロメロ祭の2日間を除いて」と聞いたからである。

そんな馬鹿な！ それではRondaはポルトガルではないか！ ではLas Fiestas de Pedro Romeroの闘牛はさぞや素晴らしい物に違いない!! 闘牛は残酷で野蛮と見られるむきも多いが、そもそもは牛は高貴で勇敢なるもの、その牛と対峙する行為は勇敢で且つ優れた闘牛は芸術的ですからある、と闘牛愛好家は語るのだが…。

スペインに住んでいた頃は闘牛場にも結構通ったものである。Madridでは一時期Ventas闘牛場の向かいに住んだほどである。PamplonaのSan Fermínでは牛追いに参加しようかと思っていたのだが地元の友人等に毎年止められて観るだけに終わってしまった。

9月1日に日本を発つというのに、8月に左足の第一指（親指）の生爪を剥がしてしまい、歩行困難の上に包帯を巻いたまま履ける靴など一足も持ち合わせがない。それでもFeriaにはSevillanasぐらいいは踊りたい。借りていたSevillanasのビデオテープを8月末に見て何とか思い出し、踊っている最中に足を踏まれないことを祈りつつ、足をひきずりながらRondaに着いた。Feria会場で約半年ぶりに訪問団のメンバーにも再会をした。

会場内にはCasetaはあるのだが、いわゆるDisco MusicばかりでSevillanasを踊っている所は何処にもない。ここはMalaga県なのにAndalucíaではないのかしら？

さて、闘牛は観客にあまり評判は良くなかったようだが、私にとっては心待ちにしていた闘牛観戦!! もう久々に興奮と感激を覚えた。

祭り最終日の闘牛はRejonesといって馬上の闘牛士が牛と戦うもの。闘牛発生初期は全てこのスタイルのものだったが、闘牛士が自分の強さを観衆に知らしめる為に馬から降りて戦う現在の闘牛となった。現在ではあまり一般的ではないが、時折祭等で開催される。



Ronda市民はこの闘牛の方がお気に入りのようで点数も甘く、闘牛士全員が耳を獲得するほどだった。

Ronda滞在一週間は瞬間に過ぎ、Rondaの皆さんには本当に良くして頂いた。なかでも、『AIYES10周年』記念行事期間にも参加してくれた、José Cabeza Díaz=Pacoは忙しいにも関わらず私の為に時間を割いてくれた。これもひとえにAIYESの活動のお陰、感謝あるのみ。

翌朝、綺麗な町Rondaに別れを告げ、友人が待つHuelvaの避暑地へと向かった。

◀Rondaの町の人々と

★★★★★賛助会員紹介（第6回）

パラドール・デ・かまくら

私共の店が鎌倉大仏と長谷観音の参拝道に開業してから早4年になりました。店名の『パラドール・デ・かまくら』は私共の著書、“スペイン・パラドール紀行”に因んだものです。

私共は1986年から94年の8年間マドリードで生活しました。そして、暇を見ては、スペイン全土にまたがる86カ所すべてのパラドールを訪ね、私自身が雑誌記者であった関係で、丹念に取材をし写真や資料を集めました。その際、通訳を兼ねた女房は各パラドールの厨房に入れてもらい、料理の手ほどきを受けたり、レシピを数多く頂戴しました。



▲内装のタイルや絵皿は全てスペイン製

経営のノウハウは、私の知人でレストラン経営のベテランから教えられ、また、料理はスペイン料理の大御所「ロス・プラトス」の戸沢氏や名古屋の老舗「エル・トレロ」のオーナー峰野氏から直伝してもらい、それを学校を終えたばかりのコック達に教育しました。

開業してしばらくは戸惑いの連続でしたが、お蔭様で料理の味も固定化し、顧客もリピーターが増え続けています。場所柄、観光客が多いのですが、皆さん異口同音に「観光地にはめずらしく、美味しいものを食べた。有り難う」と、私に感謝の声をかけて帰られます。この時ほど客商売冥利に尽きるものはありません。

さらに、私共の誇りは店内の内装にもあります。壁面にはめ込まれたタイルや飾られている絵皿は、すべて私共と一緒にスペインから運ばれたものです。また、建築時から設計された中が空洞になっている舞台では、月2回定例でフラメンコライブを行ないます。これも湘南地区では唯一私共の店だけです。しかも料理込みで3,000円ですので、毎回フラメンコファンで座席が埋まります。さらに毎年末には、クラシックギターと歌唱演奏の宴も催して、一年の締めくくりをします。

最後に、私共がこの地で商いを始めたのは、ただ単にスペイン料理を提供するだけでなく、それを通じてかの国の文化を少しでも知って貰えたらと、思う気持ちもあります。さきに述べたように、私共は“スペイン・パラドール紀行”と言う本を出しました。また、昨年7月“スペインハスブルク・カルロス5世の旅”も世に問いました。このように私共の店がアンテナ基地として、スペイン大好き人間の憩いの場として皆様にご愛顧願えれば本当に嬉しいのです。

//// //// 新入会員紹介 //// ////

ジュアン・ドラド・ロペス (Joan Dorado López) 2000年9月13日入会

東京都大田区

横浜スペイン交流協会のメンバーになれることを、大変嬉しく光栄に思い、家内共々感謝いたしております。

スペイン文化や言語、また私の国スペインを紹介するあらゆることに関して、大変興味深い企画をしているこのような協会を知って、本当に驚いております。

フランシスコ・オルテガ・ガルシア (Francisco Ortega Garcia) 2000年10月25日入会

横浜市中区

スペインのサラマンカ出身です。日本の友達は皆私のことを「パコさん」とよんでい
ますので、どうぞ皆さんもそう呼んでください。

昨年8月に日本にきました。その理由は妻が日本人で、日本人の血をひく二人の子供
が日本語の読み書きを完璧に出来るようになってほしいということがあります。横浜
に住むようになったのは、以前からこの町に心ひかれていたからです。

スペインが大好きな横浜スペイン交流協会の皆様にお会いできて、大変嬉しく思っ
ております。でも、スペインはフラメンコ、闘牛、サングリア、パエジャ、マドリード、
バルセロナ、セビージャだけではありません。もっといろいろあります。皆さんが本当のスペインをもっと
良く知っていただくのに私がお役にたてれば幸いです。

足立友香里 (Yukari Adachi) 2000年10月25日入会

東京都練馬区

スペインに魅せられて20年。あっという間に20年。最初はスペイン人と話しがたく
て習い始めたスペイン語。一度スペインの地に足を踏みいれたらエスパーニャのことが
知りたくってどんどん興味が広がって、いつしか年に1度はスペイン暮らし。

通訳・翻訳業もしましたが、最近ではスペイン文化研究家を名のり、おもに闘牛と食
のことを日本に紹介する活動をしています。

白沢 和子 (Kazuko Shirasawa) 2000年10月13日入会

横浜市栄区

昨年7月「私たちのスペイン展」に誘われて、県民センターに伺ったのがきっかけと
なり、フィエスタに参加させて頂き、多くの方々が交流を持たれている事を知りました。
再度訪れたいと思っている大好きなスペインに、桜の植樹もなされているとのこと、楽
しみにしています。

***** INFORMACION *****

ロンダ在住陶芸家

『セラミックアートFuji国際ビエンナーレ2000』に出品

昨年の11月3日(金)より、本年2月12日(月)までの3カ月余にわたって、山梨県南巨摩郡中富町にある
“なかとみ現代工芸美術館”において、『セラミックアートFuji国際ビエンナーレ2000』が開催されている。
この企画展は、その名のとおり2年毎に開催されるものであるが、今回はスペインから11名の陶芸作家の作
品が招待展示されている。この中に、ロンダ在住の陶芸作家ファン・ラモン・ヒメノ・アントリン氏の作品
もある。

ロンダ市は、ご存知のように当協会が故春田画伯との縁で、さくらの苗木を植樹し、それがもとになりペ
ドロ・ロメロ祭に招待を受けた。また去年はその返礼の意味もあって、ロン
ダ市の幹部の方々を横浜に招待したりと、その関係は深いものがある。

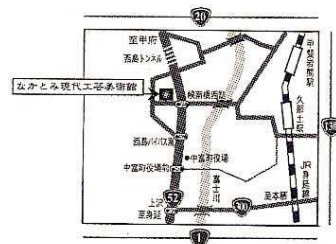
《なかとみ現代工芸美術館》

住 所：〒409-3301 山梨県南巨摩郡中富町西島345番地

TEL 0556-20-4555 FAX 0556-20-4558

開館時間：午前9：30～午後5：00

休 館 日：毎週火曜日(但し、祝振替休日は開館)年末年始



アクセス：●JR身延線「甲斐岩間駅」からタクシーで約3分

●甲府方面より一国道52号線を身延方面に向かい西島トンネルを抜けて信号「峡南橋西詰」を右折

●静岡方面より一国道52号線を甲府方面に向かい中富町役場前を過ぎ「峡南橋西詰」を左折

駐車場：乗用車105台を収容できる『なかとみ和紙の里』無料駐車場が利用できる。

— スペイン・ミニミニ情報 —

●2001年のスペイン祝祭日

1月1日(月)	新年	10月12日(金)	イスパニアデー
1月6日(土)	主顕節	11月1日(木)	諸聖人の日
4月13日(金)	聖金曜日	12月6日(木)	憲法の日
5月1日(火)	メーデー	12月8日(土)	聖母受胎告知の日
8月15日(水)	聖母昇天祭	12月25日(火)	クリスマス

このほか、各自治州ごとに決められた休日があります。ご旅行のさいは、ご確認の上おでかけください。

☆マドリード自治州の休日

上記の休日のほか、以下の日にちが休日になります。

4月12日(木)	聖木曜日	5月2日(水)	マドリード自治州の日
----------	------	---------	------------

●2001年のスペインの主な祭り

1月17日	サン・アントニオ・アバット祭	ラ・プエブラ(マジョルカ)
1月20日	サン・セバスチャンの太鼓祭	サン・セバスチャン
2月1日～3日	悪魔の祭り	アルモシナッド・デル・マルケサド(クエンカ)
2月3日～4日	サンタ・アゲタ祭	サマラマラ(セゴビア)
2月22日～3月4日	カーニバル	カディス
2月9日～27日	カーニバル	ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア
2月9日～3月4日	カーニバル	サンタ・クルス・デ・テネリフェ
3月12日～19日	サン・ホセの火祭り	バレンシア
3月17日～25日	マグダレーナのマリア祭	カステジョン・デ・ラ・プラナ
4月8日～15日	聖週間	スペイン全土
4月22日～24日	アラブ人とキリスト教徒の祭り	アルコイ(アリカンテ)
4月26日～29日	カベサ聖母の巡礼	アンドゥーハル(ハエン)
4月29日～5月6日	セビージャの春祭り	セビージャ
5月4日～15日	コルドバのパティオ祭り	コルドバ
5月13日～20日	ヘレスの馬祭り	ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ
6月3日	ロシオ聖霊降臨祭	アルモンテ(ウエルバ)
6月14日～17日	聖体祭	スペイン全土
6月20日～24日	サン・ファンの火祭り	アリカンテ
7月7日～14日	サン・フェルミン祭	パンプローナ
8月4日	セヤ川下り	アリオンダス(アストゥリアス)

8月5日	アルバリーニョ祭り	カンバドス（ポンテベドラ）
8月5日	アストゥリアス祭り	ヒホン（アストゥリアス）
8月16日	サン・ロケ祭り	ヤネス
8月22日	トマト祭り	ブニョール（バレンシア）
9月20日～26日	リオハの収穫祭	ログローニョ（リオハ）
9月24日	メルセド祭	バルセローナ
10月12日	ピラール祭	サラゴサ
10月27日～28日	サフラン祭り	コンスエグラ



—— 事務局よりのお願い ——

会費納入方法の変更について

昨年最後の理事会で、2001年度（平成13年度）より、年会費の納入方法の変更が下記のように決まりましたので、お知らせします。

従来は、振り込み手数料込みで年会費が正会員3,000円。賛助会員10,000円となっておりました。それを2001年度会費からは、振り込み手数料を会員各位にご負担していただくことになりました。

4月（新会計年度）になりましたら、振り込み用紙を同封し、会員各位に会費ご納入のお願いをいたしますので、よろしくご理解の上、決められた日にちまでにお振込みいただきたくお願いいたします。

—— 賛助会員各社の会員サービス内容 ——

先般皆様のお手元にお届けした会員証を提示することで、下記の賛助会員各社より、各種のサービスを受けることができます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオーリーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリアー杯
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリアー杯
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリアー杯
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R 目黒駅（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリアー杯
アランフェス	横浜スカイビル11階	045-442-0581	サングリアー杯
アマポーラYokohama	横浜ルミネ6階	045-453-6851	サングリアー杯
パラドール・デ・かまくら	江ノ電長谷駅そば	0467-22-6798	サングリアー杯
太陽海外航空(株)	東京都中央区京橋2-2-14山陽アネックスビル	03-3281-2441	日本出入国カード作成料及び成田空港使用料を負担する
J T B 団体旅行横浜支店	横浜市中区相生町4-75 J T B、Y N 馬車道ビル	045-664-2730	ツアー料金割引（添乗員付だけ）ルックJ T B、J T B エース各3%、旅行用品割引トラベランド店にて10%割引特別カード進呈
アトリエJUNE	横浜市神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701	045-313-9417	押し花額制作代の通常価格から10%割引

<編集後記>

協会創立10周年を迎えた昨年は、多くの行事で盛り上がりました。A I Y E S 通信も例外ではなく、このところ12ページの号が続いています。そのエネルギーが一年を締めくくりに大変嬉しいニュースが飛び込んできました。今号でお伝えした通り、下山会長がスペイン国王陛下より勲章を授与されました。21世紀を迎えるにあたり、協会にとって活動の大きな励みとなりそうです。ところで、どなたか I T 関連の記事など書かれませんか。お待ちしております。

* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
かながわ県民活動サポートセンター
レターケースNo.184 横浜スペイン交流協会会報係